



2022年5月13日

各位

会社名 チタン工業株式会社
代表者名 代表取締役 井上保雄
社長執行役員
(コード番号 4098 東証プライム)
問合せ先 取締役 西田 敦
常務執行役員
(TEL 0836-31-4155)

2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び 剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）通期連結業績予想値と本日公表いたしました実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、剰余金の配当につきましては、2022年6月29日開催予定の第124回定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 7,940 | 百万円 320 | 百万円 220 | 百万円 150 | 円 銭 49.79 |
| 実績値 (B) | 8,149 | 373 | 287 | 265 | 88.14 |
| 増減額 (B-A) | 209 | 53 | 67 | 115 | |
| 増減率 (%) | 2.6 | 16.6 | 30.5 | 76.7 | |
| (ご参考) 前期実績(2021年3月期) | 6,284 | △64 | △150 | △178 | △59.31 |

2. 差異の理由

2022年3月期通期連結業績につきましては、酸化鉄関連事業のトナー向け新製品の出荷が好調に推移したことや、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小した経済活動の持ち直しの動きのなかで、酸化チタン関連事業のトナー外添剤向け製品及び酸化鉄関連事業の化粧品向け製品の需要が回復したことなどにより、売上高が前回発表予想値を上回りました。また、損益面につきましては、主要原燃料価格の高騰などの影響を受けましたものの、売上高の増加に加え、生産数量も増加したことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、前回発表予想値を上回りました。

3. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

| | 決 定 額 | 直近の配当予想 (2021年5月14日公表) | 前期実績 (2021年3月期) |
|-----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基 準 日 | 2022年3月31日 | 2022年3月31日 | 2021年3月31日 |
| 1株当たり配当金 | 18円00銭 | 10円00銭 | 10円00銭 |
| 配 当 金 総 額 | 53百万円 | — | 30百万円 |
| 効 力 発 生 日 | 2022年6月30日 | — | 2021年6月30日 |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 理由

当社は株主への利益還元を重要な課題のひとつと考えて事業の経営にあたっております。

この考えのもと、当社の配当につきましては、従来から安定配当を旨としておりますが、一方、将来の事業展開を見越した投資や財務体質強化のための内部留保の充実も企業にとり重要なことと認識しており、業績に照らしてこれらを総合的に判断し、配当を実施することとしております。

2022年3月期の期末配当につきましては、2022年3月期の業績及び今後の事業展開等を慎重に検討いたしました結果、直近の配当予想（2021年5月14日公表）の1株当たり10円から8円増配し、18円とすることといたしました。

(ご参考) 年間配当の内訳

| 基 準 日 | 1株当たり配当金 | | |
|-----------------|----------|--------|--------|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 当 期 (2022年3月期) | 0円00銭 | 18円00銭 | 18円00銭 |
| 前期実績 (2021年3月期) | 0円00銭 | 10円00銭 | 10円00銭 |

以上